

令和4年度

マイスター・ハイスクール事業中間発表

新潟県立海洋高等学校

これまでの産官学連携の取組

新潟県糸魚川市

200m



学校概要

創立124年

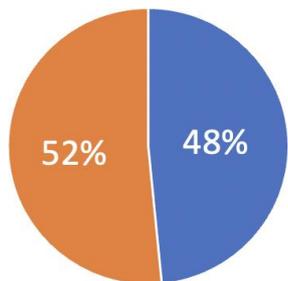
明治からつづく
水産教育の拠点

中部日本海側
唯一の単科の
水産・海洋系高校

特色ある取組

- 「目指せスペシャリスト事業」
(平成20～22年／文部科学省)
- 「糸魚川市水産資源活用産学官連携事業」
(平成27年～／糸魚川市)
- 「地方創生加速化交付金」による事業
(平成28年／内閣府)
- 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
(平成29～30年／文部科学省)

糸魚川市・上越市以外からの 入学者の増加



■ それ以外 ■ 糸魚川市
上越市

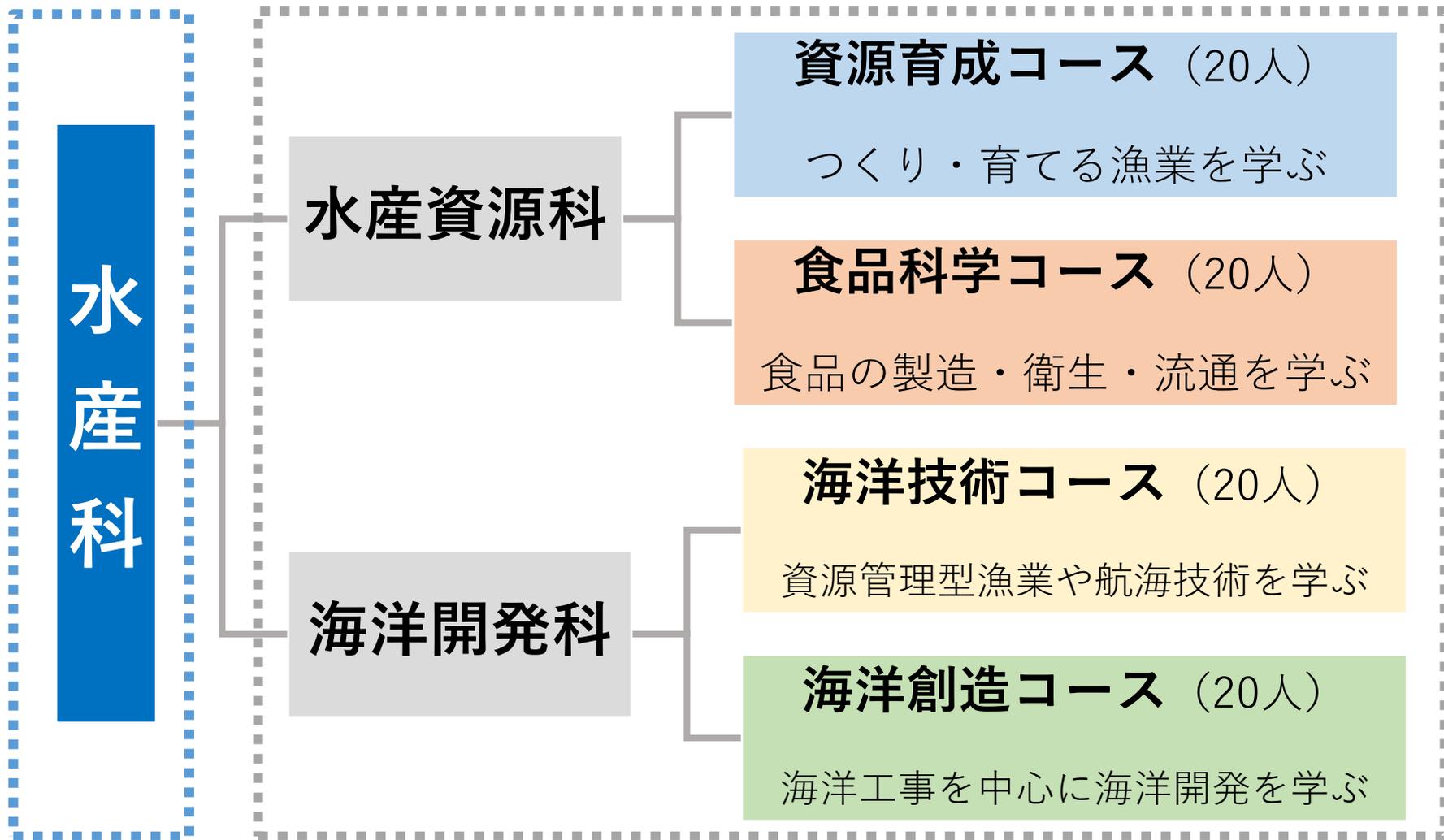
令和4年度 在校生の出身地別構成

生徒総数 218名

男171名／女47名
(水産科定員80名)
令和4年5月1日現在

1年

2・3年



※各コースの定員は入学者数の25%

通学域別入学者数の推移

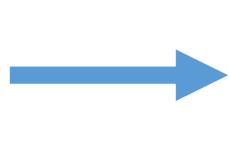
糸魚川市水産資源活用
産学官連携事業

地方創生
加速化交付金

専修学校による地域産業
中核的人材養成事業

	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
糸魚川市	47	28	20	28	25	28	17	19	15	16	14
上越市	37	25	53	33	24	17	29	32	26	19	30
上記以外	11	21	21	19	31	35	34	29	39	35	36
合計	96	74	94	80	80	80	80	80	80	68	80

110人募集



80人募集

にいがた鮭の魚醬「最後の一滴」



遡上鮭の有効利用を目的に、科目「課題研究」でH25年に商品化。H27年より海洋高校生による開発・生産・販売等と学校PR等を、海洋高校と能水商店と地元自治体が連携して実施（「糸魚川市水産資源産学官連携事業」）。

糸魚川市水産資源活用産学官連携事業（H27年～）

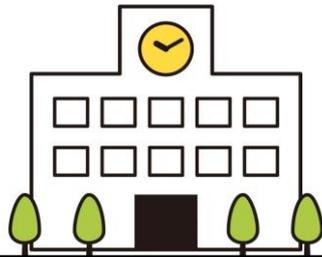
研究／実践

（開発・マーケティング・販売）

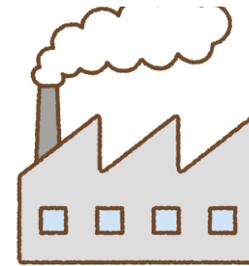
事業

（生産・施設管理・財務・会計）

海洋高校



株式会社 能水商店
（H30年～）



糸魚川市 産業部 農林水産課

実際の職業現場を生徒の実習の場として活用

海洋・水産プロフェッショナル
人材育成に向けて

未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築

マイスター・ハイスクールビジョン

地域の課題

まち・ひと・しごと創生総合戦略
「農林水産業従事者所得の確保向上と若者にとって魅力ある雇用の場の創出」

第4次産業革命/地方創生時代

- ICT活用:業務の効率化
- DX :ビックデータ・ICT活用に基づく収益性の高い経営
- 6次産業化:地域資源に付加価値を付与

カリキュラム・教育内容の刷新

1. 授業実習等におけるICT活用
2. 企業実習・専門家による6次産業化学習支援と地域理解
3. 新潟海洋高校アンテナショップ能水商店におけるOMO

糸魚川の魅力や強みを理解し
ICT活用やDXに対応できる
活力ある地域産業を担う
海洋・水産プロフェッショナルの誕生!

各コースの取組

資源育成コース

チョウザメ養殖
アクアポニックス等

食品科学コース

水産加工品開発
アンテナショップ実習等

海洋技術コース

航海実習中のオンライン授業
漁獲物オンライン販売等

海洋創造コース

マリンスポーツイベント企画運営
水中ドローンによる測量実習等

SDGsの視点を踏まえた実践

- 新しい低コストな鮭放流事業! 「サケの発眼卵放流」
- 採り過ぎ注意! 「モズク生育域マップ作成」
- 森が豊かな海をつくる! 「魚付き保安林の保護育成」
- 究極の循環型食糧生産! 「アクアポニックス」
- 廃棄物削減! 「水産加工残渣の有効利用」



「海洋高校の森」保護育成 (R3年5月)



サケの発眼卵放流 (R3年12月)



学校設定科目 「地域探究」

R4の新たな取組

自ら作った商品・サービスを通したよりよい顧客体験とは何かを考える実践

～カスタマーエクスペリエンスの向上を目指して～



海洋高校生が接客する
「新潟海洋高校アンテナ
ショップ能水商店」



海洋高校生がアテンドする
マリンスポーツイベント



3 すべての人に健康と福祉を



ウェルビーイングの視点で生き方を考える「マイスター・ハイスクール進路講話」

様々な外部講師(プロフェッショナル)の生き方から学ぶ講話を通して、自己や他者との関わり、幸福の尺度を理解し、より良い進路選択について思考する機会とする。

【マイスター・ハイスクール関連カリキュラム】

3 ・ 2 年	各コース専門科目（資源育成・食品科学・海洋技術・海洋創造の4コース） 実践を通じた専門性の伸長、ICTの活用、専門分野の資格取得	
	総合実習（2～4単位/年間）	課題研究（2～3単位/年間）
1 年	水産科目「海洋情報技術」（2単位）・学校設定科目「地域探究」（2単位） ICT活用能力育成、地域と6次産業化の理解、アントレプレナーシップの涵養	

【実施体制】

マイスター・ハイスクール運営委員会

- * マイスター・ハイスクールビジョン策定
- * 事業の意思決定、検証と改善

マイスター・ハイスクール事業推進委員会

- * 教育内容の検討・実施
- * 地域産業との連携推進

新潟県立海洋高等学校

連携機関

- | | |
|----------------|----------------|
| (株)能水商店 | (有)SKフロンティア |
| (株)能生町観光物産センター | ムービークリエイト レゴリス |
| 能生内水面漁業協同組合 | (公財)マリンスポーツ財団 |
| 上越漁業協同組合 | 糸魚川信用組合 他 |

マイスター・ハイスクールCEO

事業進捗管理、学校内外情報共有、外部講師による講演・授業実習の調整、アンテナショップにおける各種企画・広告宣伝・販売実習の調整 等

産業実務家教員①

道の駅「マリンドリーム能生」のアンテナショップにおける生徒企画イベントの集客から実施、収支決算に至る一連の指導 等

産業実務家教員②

食品科学コースにおける新商品開発指導（試作・評価・成分分析・食品表示作成・パッケージデザイン・製品規格書作成） 等

マイスター・ハイスクール関連カリキュラム

水産科目：「海洋情報技術」（1学年、全員） 2単位

【教育の視点】

水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通じて、情報技術の体系的・系統的な理解と関連する技術を身につける。情報技術の主体的な活用を目指し、水産業や水産関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

- ・ 水産や海洋における情報技術
- ・ 水産や海洋における情報コミュニケーションと情報デザイン
- ・ コンピューターとプログラミング
- ・ 情報通信ネットワークとデータの利用
- ・ 水産や海洋における情報技術の応用

〔だれから学ぶか？〕

- ・ 教職員

〔どのように深めるのか？〕

- ・ コンピューター等を利用した演習等
- ・ 学習プリントや課題等

【特徴】

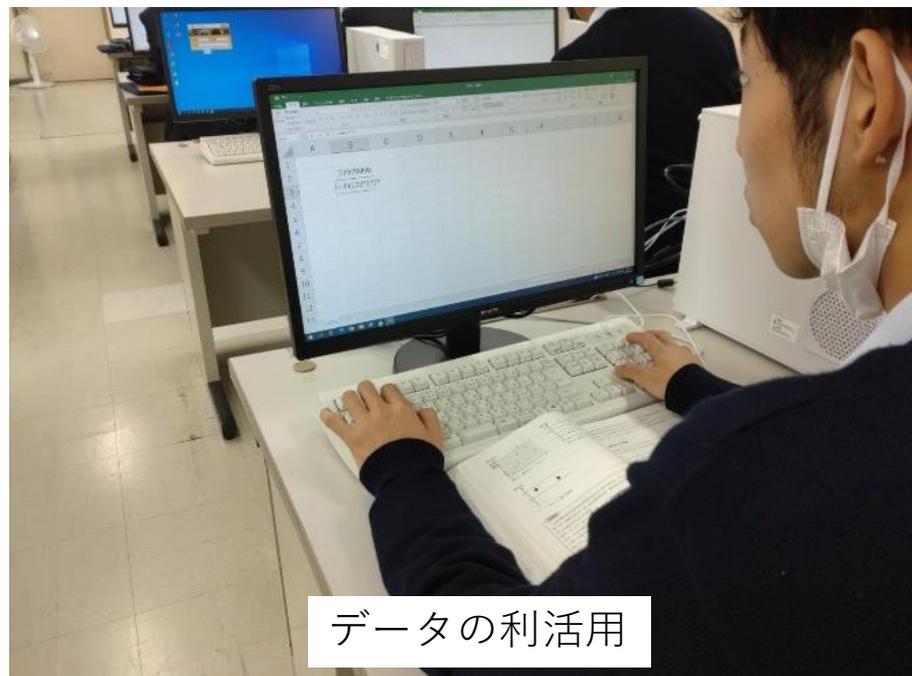
- ① コンピューターを利用した演習
- ② 授業中の発言、発表や討議する機会の設定

【期待できる効果】

ICT活用能力育成



水産・海洋の情報技術習得



データの利活用

マイスター・ハイスクール関連カリキュラム

学校設定科目：「地域探究」（1学年、全員） 2単位

【教育の視点】

探究の見方・考え方を働かせ、横断的総合的な学習を通じて、自己の在り方生き方を考え、課題を発見し解決する資質・能力を育成する。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

- ・ 糸魚川の自然、歴史、文化、産業の現状と課題等
- ・ 水産業、海洋関連産業の現状と課題等
- ・ マリンスポーツ等の知識・技術

〔だれから学ぶか？〕

- ・ 教職員
- ・ 地元の企業の職員等
金融機関の職員
マリンスポーツ財団の職員
企業の職員（インターンシップによる）
県水産課、上越漁協の職員 等

〔どのように深めるのか？〕

- ・ ICT技術の活用、レポート・報告書の作成、職員等によるOJT等

【特 徴】

- ① 地元の企業等での授業・実習の実施、施設・設備の利活用
- ② 産業実務家教員による授業
- ③ マイスター・ハイスクールCEOによる授業・マネジメント

【期待できる効果】

地域と6次産業化の理解、アントレプレナーシップの涵養



地元金融機関による授業



地元漁港の見学



地元企業インターンシップ



マリンスポーツ実習



マリンスポーツイベント企画立案



フォッサマグナミュージアム見学と巡検

マイスター・ハイスクール関連カリキュラム

水産科目：「総合実習」（2、3学年、全員）2～4単位/年間

【教育の視点】

水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通じて、水産業や海洋関連産業において必要となる資質・能力を養う。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

各科コースによって異なる。

- （水産資源科・資源育成コース）ヒラメの稚魚生産、アカムツの種苗生産、
チョウザメ・イトウの養殖管理、マコンブ養殖 等
- （水産資源科・食品科学コース）サンマみりん干し、さば水煮缶詰・さば味噌煮缶詰、
かまぼこ、新巻鮭の製造、食品技能検定、HACCP検定 等
- （海洋開発科・海洋技術コース）小型船舶に関する操船実習、海図の読み取り、イカ釣り
漁場実習、海技免許講習、救命講習、英語講習 等
- （海洋開発科・海洋創造コース）測量、スキンドайビング・スクーバダイビング実習、
アーク溶接・ガス溶接、石均し、水上・水中測量 等

〔だれから学ぶか？〕

- ・ 教職員、産業実務家教員、マイスター・ハイスクールCEO
- ・ 地元の企業の職員等

〔どのように深めるのか？〕

- ・ 実験や実習などの体験活動、レポート作成、ICTの活用等

【特 徴】

実験・実習を取り入れた理論の定着、知識・技術の総合的な習得

【期待できる効果】

実践を通じた専門性の伸長、ICTの活用、専門分野の資格取得

マイスター・ハイスクール関連カリキュラム

水産科目：「課題研究」（2、3学年、全員）2～3単位/年間

【教育の視点】

水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通じて、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

- ・ 水産や海洋における知識・技術
- ・ 水産や海洋に関する課題とその解決策
- ・ 課題を解決する力、水産業や海洋関連産業の振興、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

〔だれから学ぶか？〕

- ・ 教職員
- ・ 産業実務家教員、マイスター・ハイスクールCEO

〔どのように深めるのか？〕

- ・ 調査、研究、実験、報告書・レポート作成、成果発表
- ・ 作品制作
- ・ 産業現場等における実習
- ・ 職業資格の取得

【特 徴】

- ① 生徒の興味・関心、進路希望に応じた課題の設定
- ② 個人又はグループで、主体的かつ協働的な取組
- ③ 専門的な知識、技術などの深化・総合化した課題解決型の学習

【期待できる効果】

実践を通じた専門性の伸長、ICTの活用、専門分野の資格取得

水産科目：「課題研究」（2、3学年、全員）

水産資源科・資源育成コース

チョウザメ養殖、アクアポニックス 等

- R 4
- 「アクアポニックス」
 - 「サケの発眼卵放流」 等



水産資源科・食品科学コース

水産加工品開発、地域特産品発掘 等

- R 4
- 「水産加工残渣の有効利用」
 - 「新潟海洋高校アンテナショップ能水商店」 等



海洋開発科・海洋技術コース

航海実習中のオンライン授業、漁獲物オンライン販売 等

- R 4
- 「漁師のD2Cビジネス」
 - 「魚付き保安林の保護育成」 等



海洋開発科・海洋創造コース

マリンスポーツイベント企画運営、水中ドローンによる測量実習 等

- R 4
- 「モズク生育域マップ作成」
 - 「マリンスポーツイベント」 等



水産資源科資源育成コース実践例

【チョウザメ養殖】

- 連携先：有限会社SKフロンティア（地元農業法人）
- 目的：ICTを導入した養殖の実践
- 成果：雌雄判別にPCR法を導入し、**100%の精度で若年期の選別**が可能となる。キャビアのできない雄の肉を使い、**アンテナショップ**で**フィッシュ&チップス**として販売した。



【鮭発眼卵放流】

- 連携先：能生内水面漁業協同組合、（株）能水商店
- 目的：持続可能なサケ資源管理方法の検討
- 成果：回帰率が激減している稚魚放流法に代わる放流法として、令和4年3月に**孵化率約98%**（孵化場では約80%）を確認した。令和5年放流のうち**30万粒の発眼卵放流実施**を組合で決定した。内水面漁協の**担い手不足**や**経営改善の可能性**あり。



サケの発眼卵



R4.12月 能生川支流白鳥川での放流



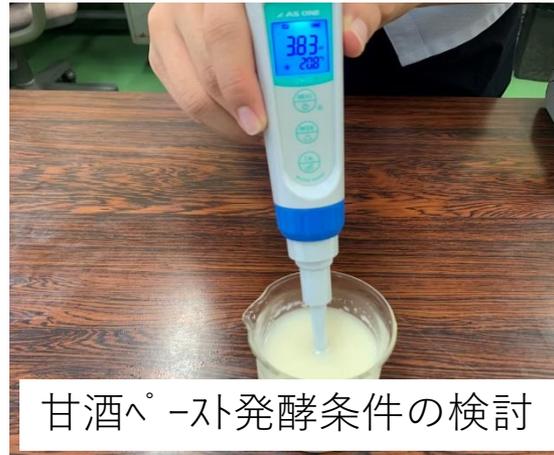




【地域水産資源を活用した新商品開発】

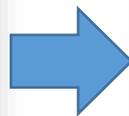
- 連携先：（株）能水商店
- 目的：付加価値の高い商品開発によって地域振興に寄与
- 成果：令和4年度に2品、令和5年度は3品を開発中である。

開発例その1



県内雪室から発見された「乳酸菌ウオヌマ株」を用い、佐渡のブランドサーモン「佐渡荒海サーモン」を原料に、新潟オリジナルます寿司を開発中。

開発例その2



冷たい「夏鍋」で
暑い夏でも元気に!

2022年夏
新発売

ごっつあん鍋

鶏ガラ×魚醤
W^{ダブル}の旨味



ごっつあん シリーズ 絶賛販売中!!



ごっつあんカレー
(中辛)



ごっつあんカレー
(鬼辛)



ごっつあん海苔



ごっつあん味噌
(プレーン)



ごっつあん味噌
(キムチ味)

水産資源科食品科学コース実践例

【新潟海洋高校アンテナショップ能水商店における実習】

- 連携先：（株）能水商店、（株）能生町観光物産センター
- 目的：海洋高校開発商品の推奨販売、市場調査等
- 成果：生徒の開発商品の推奨販売を実施するだけでなく、試作商品の試食会やテスト販売を行う。道の駅来場者の車ナンバー調査等の市場調査を実践し、顧客視点のマーケティング実習の充実を図った。



海洋開発科海洋技術コース実践例

【漁師のD2Cビジネス】

- 連携先：上越漁業協同組合、
（株）能水商店
- 目的：ICTを活用し顧客に直接鮮魚を
販売できる知識と技術を習得
- 成果：マイスター・ハイスクール特設
販売ページを立ち上げ、インテ
リアとしてのビン玉、漁業実習
漁獲物の鮮魚BOX販売を行った。



ECサイトを活用した販売を実践

新潟県立海洋高等学校
海洋開発科海洋技術コース
販売実習



うおうおぎよぎよぎよ!せんぎよぼっくす
魚魚魚魚魚!鮮魚BOX



6月14日(火) 15時00分～
送料無料・3,500円(税込)で販売!

海洋高校生が漁業実習で獲った魚をおまかせ
で詰め合わせた、ドキドキワクワク鮮魚BOX
をオンラインで販売!  販売ページ
当日は15時00分から海洋高校Youtubeチャ
ンネル(海洋TUBE)で販売スタートの告知
配信も行います。  海洋TUBE

鮮魚BOX販売の告知。動画配信しな
がらの販売をするはずであったが、
今年はお出港できず販売できなかった。

【マリンスポーツイベントによる観光誘客】

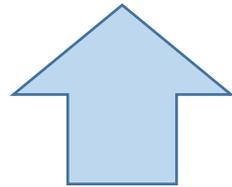
- 連携先：（公財）マリンスポーツ財団
- 目的：地元の能生海岸でマリンスポーツに親んでもらうイベントの企画、地域振興に寄与する観光誘客の検討
- 成果：令和5年度に向け、2年生16名の生徒が令和4年8月にカヌーインストラクター資格を取得。10月にはモニターイベントを開催、安全に案内する運営方法を学んだ。



モニターイベントでは、お客様の安全に配慮しながら楽しんでもらう対応を学んだ

活力ある地域産業を担う 海洋・水産プロフェッショナル

(仕事を通じて自己実現を図りながら、他者と協働してより良い社会をつくる行動ができる)



海洋・水産に関する専門性

「重点的に伸ばす3つの力」

協働力 / 行動力 / 自己管理力

<成長の測定>

- マイスター・ハイスクール 自己評価アンケート
- 学びみらいPASS
- 資格取得率
- ルーブリックによる 自己評価と各教科・コースの評価および学期末面談

【「重点的に伸ばす3つの力」を評価するためのルーブリック】

評価

(高)

(低)

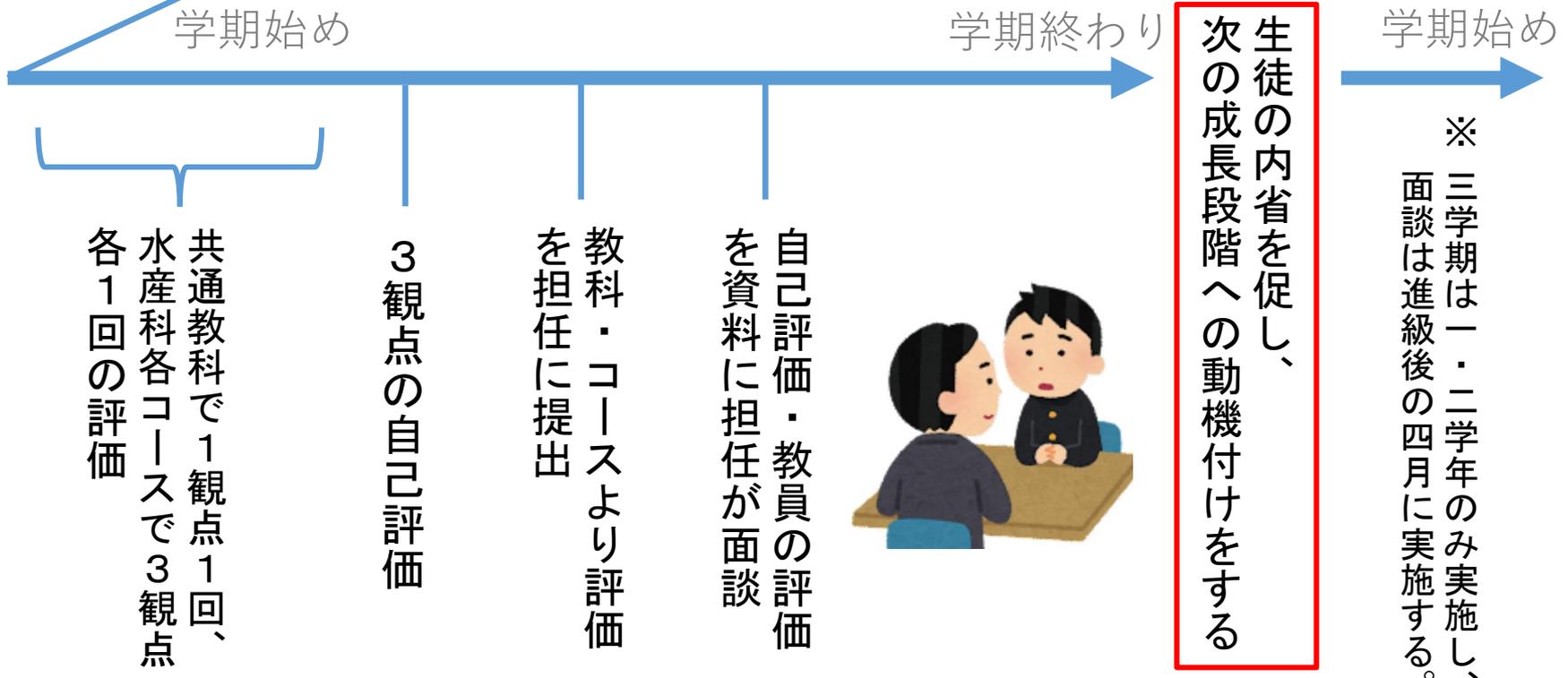
	A	B	C
協働力	協働する意味を理解し、リーダーシップのもと、自分と他者の意見や少数意見を活かしてより良い考え方を導き出し、協働して活動できる。	協働する意味を理解し、自分と他者の意見の共通性や相違点に気づき、整理するとともに協力して活動できる。	協働する意味を理解し、自分の意見を表現できる。
行動力	目的を理解して計画を立案・実施し、内容を評価して改善するための行動ができる。	目的を理解して、計画を立てて実施することができる。	目的を理解して、自分に課せられたことをやり遂げることができる。
自己管理力	基本的な生活習慣を身に付けていて、自己実現に向けて自分を律することができる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の立場を理解し、感情や行動を制御できる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の感情や行動を制御できる。



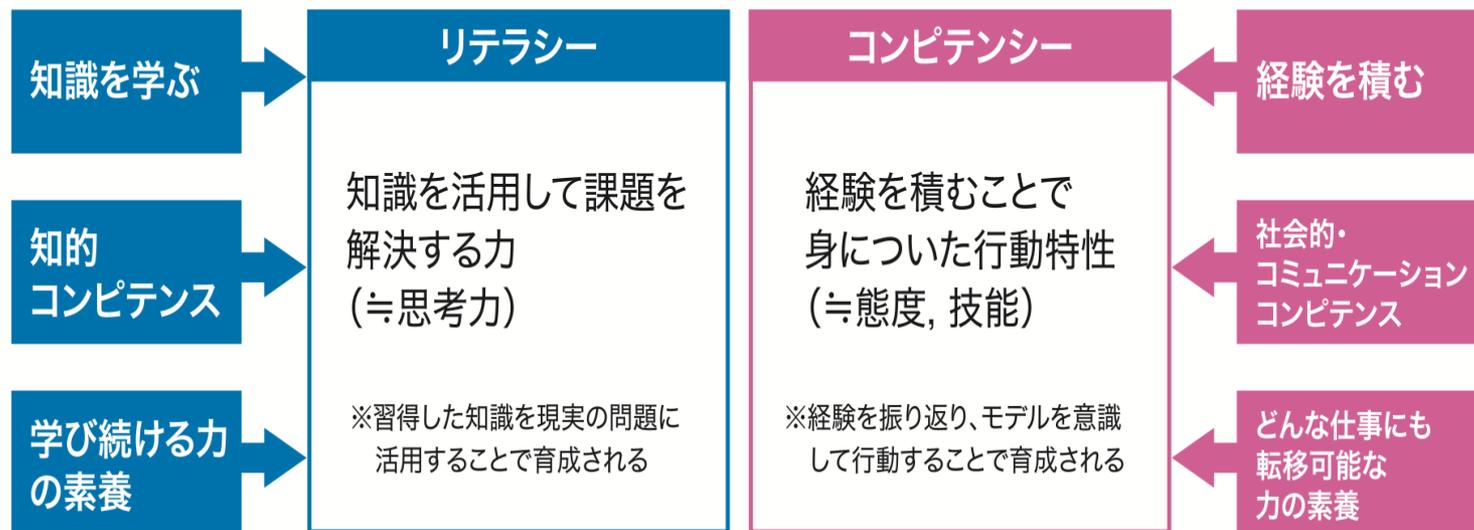
	A	B	C
協働力	協働の意味を理解し、リーダーシップのもと、自分と他者の意見や少数意見を活かしてより良い考え方を導き出し、協働して活動できる。	協働の意味を理解し、自分と他者の意見の共通性や相違点に気づき、整理するとともに協力して活動できる。	協働の意味を理解し、自分の意見を表現できる。
行動力	目的を理解して計画を立案・実施し、内容を評価して改善するための行動ができる。	目的を理解して、計画を立てて実施することができる。	目的を理解して、自分に課せられたことをやり遂げることができる。
自己管理能力	基本的な生活習慣を身に付けていて、自己実現に向けて自分を律することができる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の立場を理解し、感情や行動を制御できる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の感情や行動を制御できる。



到達すべき目標を生徒・教員で共有する



【「学びみらいPASS」によるリテラシーとコンピテンシーの客観評価】



出典：河合塾 学びみらいPASSパンフレット

リテラシー

- ① 情報収集力
- ② 情報分析力
- ③ 課題発見力
- ④ 構想力

コンピテンシー

対人基礎力

- ① 親和力
- ② 協働力
- ③ 統率力

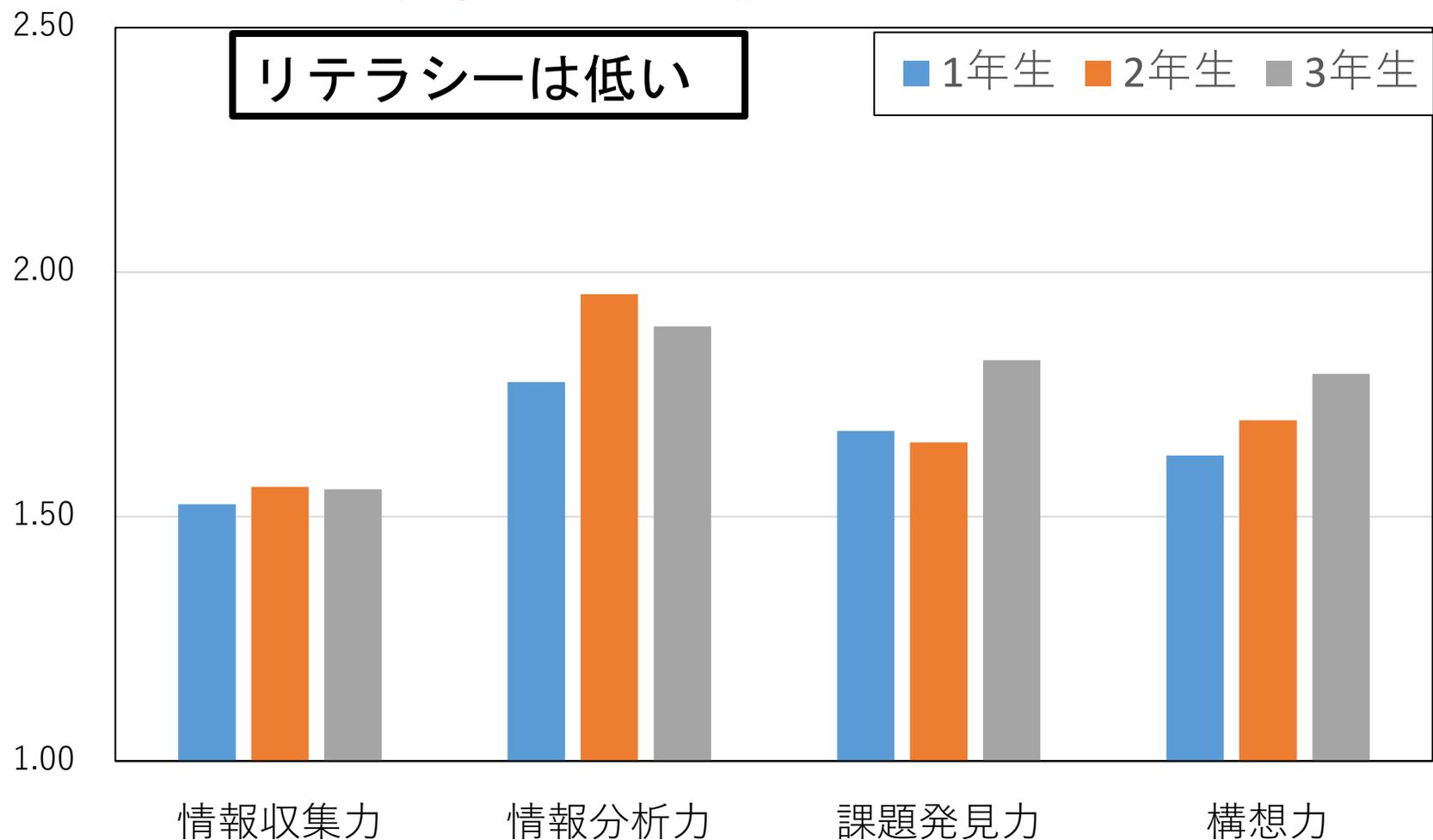
対自己基礎力

- ④ 感情制御力
- ⑤ 自信創出力
- ⑥ 行動持続力

対課題基礎力

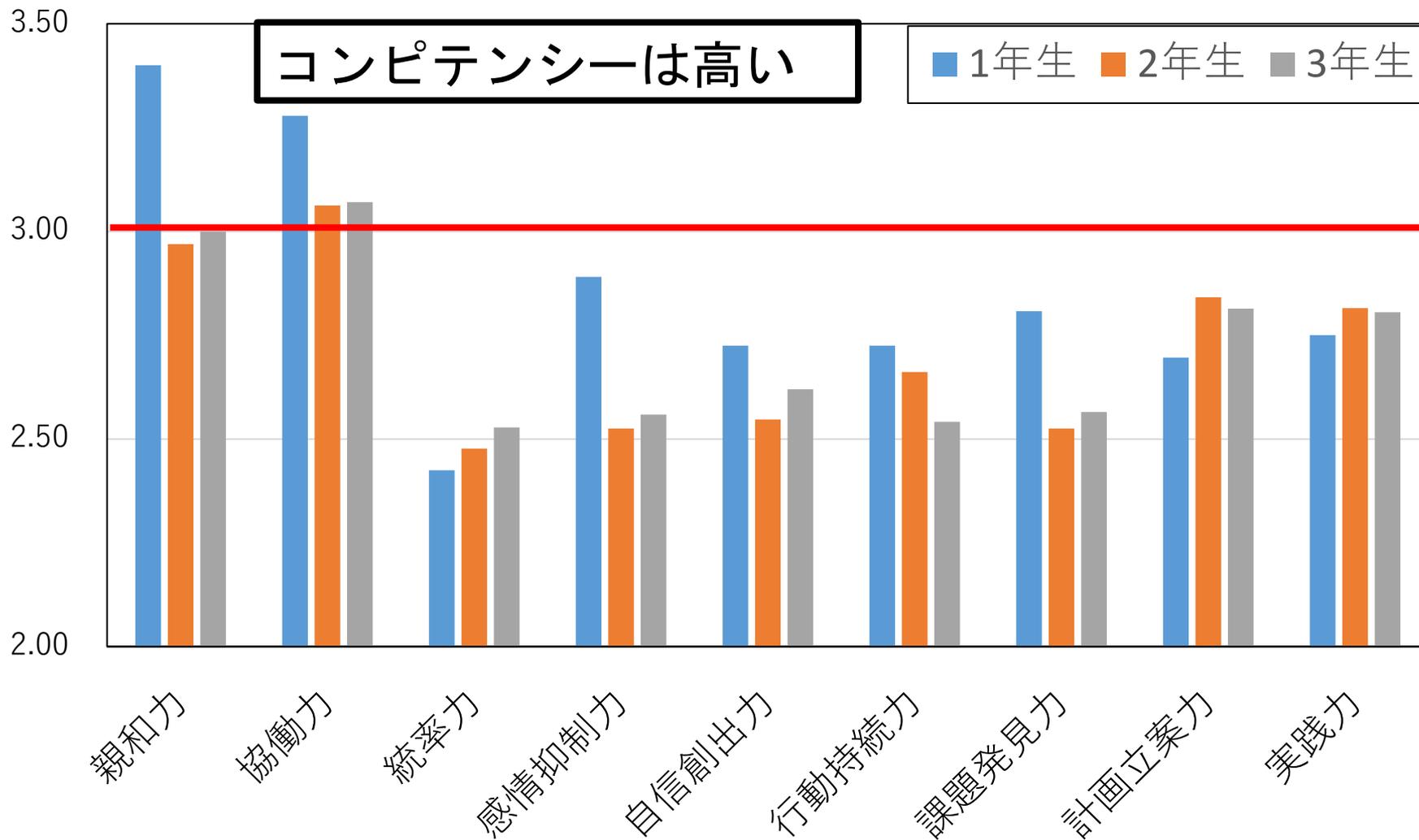
- ⑦ 課題発見力
- ⑧ 計画立案力
- ⑨ 実践力

学力（国・数・社・理・英）と相関あり
3 ≡ 受検生の平均値



令和4年4月 学年別リテラシーの結果

学力（国・数・社・理・英）と相関なし
3 ≡ 大学生の卒業レベル



令和4年4月 学年別コンピテンシーの結果

【マイスター・ハイスクール事業で身に付いた 具体的な知識や技術、態度の確認】

マイスター・ハイスクール自己評価アンケート

以下の質問に対して、自分の「現状」に当てはまる選択肢の番号を○で囲んでください。

質問項目		あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	ややあてはまらない	あてはまらない
	1 ICT(PC・タブレット・スマホ等を使った情報処理と通信技術)の知識や技術の習得に積極的に取り組みたい	5	4	3	2	1
ICT活用	2 効率的に仕事をしたり新しい仕事を生み出したりするためのICTの活用方法を知っている	5	4	3	2	1
	3 普段からICTを活用して、学習や趣味、友人家族との連絡などを効率化している	5	4	3	2	1
	4 ICTを活用すれば、地方にいても収益性の高い(もうかる)仕事をつくれると思う	5	4	3	2	1
地域理解と 6次産業化 観光誘客	5 糸魚川市の産業や観光、伝統文化、ジオパークとしての特徴などを知っている	5	4	3	2	1
	6 他の地域と比較したときの糸魚川市の強みや弱みを自分なりに答えられる	5	4	3	2	1
	7 糸魚川市の水産業や海洋関連産業の概要や特徴を知っている	5	4	3	2	1
	8 6次産業の生産から販売までの具体的な仕事のイメージができる	5	4	3	2	1
	9 6次産業化により、企業が収益性の高い仕事をつくれると思う	5	4	3	2	1
	10 糸魚川市に観光客を呼び込む方法について知っている	5	4	3	2	1
	11 企画したイベントにおける参加者や観客の完全管理について考えられる	5	4	3	2	1
	12 糸魚川のみならず、自分が今後住む土地の強みや弱みについて考え、地域活性化に関わりたいと思う	5	4	3	2	1
新潟海洋高校 アンテナショップ の活用	13 人口減少の時代において、顧客に自社商品のファンになってもらうことが必要だと思う	5	4	3	2	1
	14 商品購入から商品消費に至るまでの顧客体験(顧客満足度)を向上させるためのICTの活用方法を知っている	5	4	3	2	1
	15 店舗やイベント販売(オンライン販売を含む)に集客する方法を知っている	5	4	3	2	1
	16 商品やサービスの開発から販売(オンライン販売含む)に至るまでの流れと利益が生まれるしくみを理解している	5	4	3	2	1
	17 店舗やイベント販売で顧客と直接コミュニケーションすることが好きだ	5	4	3	2	1
	18 アンテナショップ(オンライン販売やオンラインイベントを含む)で、学習成果を活かすような活動をしてみたい	5	4	3	2	1
	19 新潟県立海洋高等学校で学習できて良かったと思う	5	4	3	2	1

※13～18は、アンテナショップでの学習経験の有無に関わらず、あなたの考えを回答してください。

令和4年4月調査

質問項目

〔ICT活用〕

学年

1学年 2学年 3学年

ICT(PC・タブレット・スマホ等をつかった情報処理と通信技術)の知識や技術の習得に積極的に取り組みたい

4.1 3.6 4.0

効率的に仕事をしたり新しい価値を生み出したりするためのICTの活用方法を知っている

3.0 2.6 2.9

普段からICTを活用して、学習や趣味、友人家族との連絡などを効率化している

3.9 3.6 3.8

ICTを活用すれば、地方にいても収益性の高い(儲かる)仕事をつくれると思う

3.9 3.5 3.7

令和4年4月調査

質問項目

〔地域理解と6次産業化、観光誘客〕

糸魚川市の産業や観光、伝統文化、ジオパークとしての特徴などを知っている

他の地域と比較したときの糸魚川市の強みや弱みを自分なりに答えられる

糸魚川市の水産業や海洋関連産業の特徴を知っている

6次産業の生産から販売までの具体的な仕事のイメージができる

6次産業化により企業が収益性の高い仕事を作れると思う

糸魚川市に観光顧客を呼び込む方法について知っている

企画したイベントにおける参加者や観客の完全管理について考えられる

糸魚川のみならず、自分が今後住む土地の強みや弱みについて考え、地域活性化に関わりたいと思う

学年

1学年

2学年

3学年

3.1

2.7

2.9

3.2

2.7

3.2

3.0

2.8

3.0

3.1

3.0

3.5

3.6

3.2

3.5

2.8

2.6

2.9

2.8

2.9

3.0

3.6

3.3

3.3

令和4年4月調査 質問項目	学年		
	1学年	2学年	3学年
〔新潟海洋高校アンテナショップの活用〕			
人口減少の時代において、顧客に自社商品のファンになってもらう必要がある	3.9	3.5	3.8
商品購入から商品消費に至るまでの顧客体験（顧客満足度）を向上させるためのICT活用方法を知っている	3.0	2.7	2.9
店舗やイベント販売（オンライン販売含む）に集客する方法を知っている	3.0	2.7	3.2
商品やサービス開発から販売（オンライン販売含む）に至るまでの流れと利益が生まれるしくみを理解している	3.0	2.9	3.1
店舗やイベント販売で顧客と直接コミュニケーションすることが好きだ	3.3	3.0	3.2
アンテナショップ（オンライン販売やオンラインイベントを含む）で、学習成果を生かす活動をしてみたい	3.6	3.2	3.3

令和4年4月調査

質問項目

学年

1学年

2学年

3学年

新潟県立海洋高等学校で学習できて良かったと思う

4.4

3.9

3.9

4に近い値

全ての自己評価スコアの平均

1学年

2学年

3学年

3.4

3.1

3.3

平均的な値

〔ICT活用〕

効率的な仕事や新しい価値を生み出す方法として活用していくことが必要。

〔地域理解と6次産業化、観光誘客〕

糸魚川市の水産業や海洋関連産業、観光顧客を呼び込む方法を知ることが課題。

〔新潟海洋高校アンテナショップの活用〕

顧客体験を向上させるためのICT活用方法について理解を深めることが課題。

属性別比較や経時変化を今後詳細に分析

今後の展開

カリキュラム・教育内容の刷新

- 1) 授業実習等におけるICT活用
- 2) 企業実習・専門家による6次産業化学習と地域理解
- 3) 「新潟海洋高校アンテナショップ能水商店」OMO



教育活動の継続



糸魚川の魅力や強みを理解する / 活力ある地域産業を担う

海洋・水産プロフェッショナル人材育成

御清聴ありがとうございました